

その時が訪れるまでは黙して待つ

聖人の薬を投ずること、機しよにんの深浅じんせんに随したがい、
賢者の説黙せつもくは時を待ち人を待つ（般若心経秘鍵）

「優れた医者は、患者の容体を見て薬を与える。賢者が教えを説く時は、相手の心の状態を見て、話すのに適した時を待つ」という言葉です。どんなによい薬でも、その患者の症状に合ったものでなければまったく効果はありません。また、患者に合った薬でもタイミングを逃してしまえば、手遅れとなります。同じように、どれだけ素晴らしい

教えも相手の置かれている状況や時期によっては、まったく心に響かないこともあります。

例えば、泣いている人がいれば慰めの言葉をかけたくなくなります。困っている人がいれば「何に困っているのか」と声をかけ、助言などを与えたくなくなります。しかし、一人静かに悲しみと向き合っている人に、上辺だけの慰めの言葉は必要です。また、自分で何とかしようとして試行錯誤している時に手を出そうとするのは、余計なお世話でしょう。

時には、よいタイミングが訪れるまで、黙って待つことも必要です。苦悩している人を前にして、沈黙するのは勇気がいりますが、たとえ言葉がなくても、温かい眼差しによって心が癒されることもあります。相手の心に寄り添った行動ができた時、薬のよ